

ライフ・イノベーション分野
総合特別区域評価・調査検討会における評価結果

令和5年度

岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区

[指定：平成25年2月、認定：平成25年11月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4.8+4.8)/2=4.6$

4.8

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	介護保険給付費の抑制	86%	4
2	最先端介護機器等の活用による産業振興	114%	5
3	在宅高齢者の増加とQOLの向上	100%	5
4	生涯現役社会づくりの推進	350%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 3 + 4 \times 1 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 4 = 4.8$

4.8

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa: 5・20%、b: 4・10%、c: 3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.8

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(4.8+3.5+4.8)/3=4.4$

4.4

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.8

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.5

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.8

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.8

- ・アウトカム評価を着実に続け実績を上げている点は他の特区では見られないことであり、高く評価できる。
- ・高齢者への医療支援は、日本の重要課題であり、他地域へのモデルとなるべく情報発信も期待している。
- ・多様な取組を行っており、高齢者のアウトカムに立脚した評価ができている。
- ・訪問介護/居宅介護支援インセンティブ事業の参加事業所数は目標に未達であるが、活発な取組があり工夫がうかがえ評価できる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.8

総合評価

I、II 及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(4.8+4.4+4.8 \times 2) \div 4=4.7$

4.7

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。